

補助金審査委員会による実績評価結果（令和2年度実施分）

団体名	NPO法人市民後見センターふくおか
事業名	ライフプランノートを使った終活講座事業
評価におけるコメント	
<p>・一定の受講者を確保したかったので受講料を無料とした、とあるが、参加者が少ないからと言って受益者負担をやめるのは、申請時の事業計画から外れており適切ではないと考えます。</p> <p>また、受講料を無料とした、とあるのに収支報告書の収入欄に参加費が計上されているのはなぜでしょうか。</p> <p>(団体回答)</p> <p>受講料については無料としましたが、資料代として参加者1人につき500円の資料代を徴収しました。収支報告書に計上しているのは受講料ではなく資料代でした。</p> <p>・参加者が少なかった理由を分析すべきではないでしょうか。一定の受講者を確保したかったので受講料を無料としたということですが、受講料が高かったから参加しなかったのか、そもそもニーズがなかったのか。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が影響しているということもあるでしょうが、事業申請時点で既にその影響はあったので、そのための対応策についても確認していたはずですが、今後の活動にも関わることなので、本当に参加者が少なかった理由を分析するべきだと考えます。</p>	

補助金審査委員会による実績評価結果（令和2年度実施分）

団体名	一般社団法人こがみらい
事業名	古賀市民クリスマスマーケット事業
評価におけるコメント	
<p>・出店した5店舗についてはどのように決定したのでしょうか。公益性の観点からは、一部の事業者に出店を依頼するのではなく、広く出店希望者を募るという方法が望ましいと考えます。</p> <p>(団体回答)</p> <p>こがみらいでは3年前から起業者を対象としたチャレンジ出店事業を展開しており、クリスマスマーケットではこれまで出店した経験のある事業者(20~30社)を対象に出店を募集したが、希望者はいませんでした。そこで、CREATE SPACE MIRACO(※こがみらいが運営する店舗兼事務所)に起業相談に来られた事業者に個別に声をかけ、出店者を決定しました。</p>	